



御幸公園梅林之図

御幸公園とウメ —ウメから生まれた「幸区」—

御幸公園の位置する幸区小向は、かつて明治天皇が行幸されるほどの観梅の名所でした。天皇の行幸から「御幸」の名称がで、「幸区」の名称が生まれたとされています。

しかし、都市化の進展から往年の面影を見ることができず、御幸公園に明治天皇臨幸御観梅跡碑とともに小さな梅林が当時の名残を留めている状態でした。そこで、川崎市幸区では、平成28年度より、梅林を市民と共に復活させるため、「梅香事業推進計画」を策定し、植樹活動や観梅会の開催等に取り組んでいます。

0 10 20 30m



多摩川緑地

多摩川
交流センター
トイレ カフェ

多摩川緑地へ

多摩沿線道路

芝生広場

御幸球場

国道1号線

接木用圍場

御幸公園
管理事務所

一重 八重
濃紅色 紅色 薄紅色 白色 色変わり

※梅林は2~3月の観梅会時に入ることができます。
※ウメの実地域資源として活用しておりますので、採らないようにお願いします。

代表的な品種



ウメ — 奈良時代から親しまれる1000品種 —

ウメ (*Prunus mume*) は、バラ科サクラ属に分類される中国原産の落葉高木です。中国では烏梅というウメを燻製させたものを薬用に用いており、ウメの語源になったと言われています。日本では奈良時代から観賞用の庭木として栽培されており、国内で600品種、世界では1000品種を超えると言われています。ウメは、用途に応じて美を収穫するための「実ウメ」と観賞するための「花ウメ」に分類されます。さらに花ウメは、形態的特徴から、細かく分類されています。(下図参照)

※近年では、ウメをアズメ属 (*Armeniaca*) と分類する見解もあります。



御幸公園でみられる品種

分類	品種名	開花期				
		12月	1月	2月	3月	4月
実ウメ	1 鶯宿					
	2 甲州最小					
	3 白加賀					
	4 梅郷					
	5 豊後					
	6 南高					
	7 竜峡小梅					
	8 玉牡丹					
	9 紅加賀					
	10 見鷺					
	11 八重野梅					
	12 八重寒紅					
	13 柳川枝垂れ					
	14 輪遣					
	15 白八房					
花ウメ	16 緑萼					
	17 勇紅					
	18 大盃					
	19 鹿児島紅					
その他	20 紅千鳥					
	21 鷺鷥					
	22 緋の司					
	23 呉羽枝垂れ					
	24 素白台閣					
	25 春陽					

※開花期は気候等により変動する可能性があります。